

奄美大島・宇検村エコスタディツアーに学生が参加 マングローブ植林体験も

3月14日から17日の日程で、鹿児島県奄美大島の宇検村の自然と文化、そしてマングローブ植林を体験するエコ・スタディツアーが実施され、本学の学生7人と講師として地球環境学研究科の織朱實教授が参加した。

このツアーは、2023年9月に本学、宇検村、日本航空株式会社(以下「JAL」)、伊藤忠商事株式会社(以下、「伊藤忠商事」)の4者が締結した宇検村における環境保全・地域振興に関する産学官連携協定に基づく取り組みの第一弾として、JALが企画した。本学学生に加え、伊藤忠商事の

社員およびその家族13人も参加した。参加者は奄美大島の歴史や、現地の伝統的な民謡である島唄の伝承について学んだほか、マングローブ植林作業や村内の名所訪問を通じて、宇検村の自然と文化に触れた。

また、織教授の発案で、カードゲーム形式で国連の提唱する持続可能な開発目標であるSDGsの概念を学ぶワークショップが実施された。織教授は「世界遺産とネイチャーポジティブ、エコツーリズムとSDGs」というテーマで

ミニレクチャーも行い、参加者は環境保全と地域振興の両立について理解を深めた。

参加した学生からは「JALとの連携講座を履修した際に、宇検村の観光事業を提案したいという思いがあったので参加できて嬉しい」、「宇検村や伊藤忠商事の方々と交流のほか、現地の自然や食をはじめとした文化に触れることができ、充実した4日間となった」などの感想が寄せられた。



このツアーは今後も本学、宇検村、JAL、伊藤忠商事の4者で改善を重ね、継続的に実施予定。4者はそれぞれが持つ人的・物的資源や専門的知見を生かしながら、宇検村のゼロカーボンシティ構想や生物多様性の保全、持続可能な地域活性化施策に取り組んでいく。

実践型プログラム「東南アジアに学ぶB」

タイの山岳少数民族と交流

グローバル教育センターでは、国際社会が直面する課題について講義と実践を通して理解を深める実践型プログラムを毎学期開講している。参加者は事前と事後講義の研修と、長期休暇中に海外で実施される現地研修の両方に参加することで単位を取得できる。

実践型プログラムの1コースとして、2023年度秋学期に「東南アジアに学ぶB」【担当 廣里恭史グローバル教育センター教授(当時)】が開講された。2月28日から3月8日まで本学学生および関西学院大学からの学生合計20人がタイに渡航し、首都バンコクと同国北部にあるイエズス会が設立したザビエル学習コミュニティ(XLC)に滞在した。

最初の訪問地バンコクでは、タイに

おける日系企業進出の概況に焦点を当てた講義を受講した他、実際に街を探索しながら、発展する社会のエネルギーを体感した。

次の訪問地XLCでは、山岳少数民族の1つアカ族の村を訪問したり、別の山岳少数民族タイルー族の人々と会い、直接話を聞く機会に恵まれた。

XLCには寄宿しながら学んでいる少数民族出身の若者たちがいる。参加者は彼らと「少数民族と多文化社会」、「環境保全」、「農業と所得創出」、「教育とヘルス」についてグループワークで意見交換し、最終日に学んだことを発表した。他にも、植林や地元小学校でのボランティアなどの協働活動を通して彼らと交流を深め、フェアウェルパーティでは互いに別れを惜しんだ。



現地小学校でのボランティア活動

参加学生はタイに留学経験のある者から、海外は初めてという者までさまざまであった。本学からの参加学生の1人である山本彩乃さん(国教2)は、「このプログラムでは、日常生活では思いつかないような社会問題に直面したり、異文化交流の場面が多くあったりと、自分の当たり前と価値観を覆し、視野を広げる貴重な経験でした。毎日『明日はどんな新しい発見があるのだろう』と期待するくらい充実していました。参加者全員にとって自己を振り返ることのできる良い機会だったと思います」とプログラムの感想を語っている。

スターバックスが 15号館にオープン 新たな地域の交流拠点に

4月1日、スターバックス 上智大学四谷キャンパス店が15号館1階にオープンした。

入学式が行われたこの日、店舗は晴れ姿の新入生でにぎわいを見せた。

2022年5月に完成した木造3階建の上智大学15号館。四谷キャンパスで最も新しいこの建物は、多摩産の木材が格子状に組み込まれた外観がトレードマークとなっている。

麹町大通りに面した15号館の立地を生かし、スターバックスの新店舗が上智生や教職員、来校者、地域の人々と共にコーヒーを通じてつながる場となることで、活気あるコミュニティづくりをめざしていく。

■営業時間：7:00~20:00(月~金) / 8:00~19:00(土日祝)

■定休日：不定休



木材格子がトレードマークの15号館

開室時間：平日 9:00~11:30、12:30~16:30(土日祝日、年末年始、学院が定める休日は閉室)

詳細・問合せは上智学院ソフィア・アーカイブズ(03-3238-3294)まで ※学外の方は図書館入館の際にソフィア・アーカイブズの見学希望である旨を申し出てください。

〈上智の「鷲」のマークに関連した企画展も開催中〉

■わしまみれ展

場所：中央図書館1階

会期：5月31日まで

■上智の「鷲」とともに

-大学の理想と「校章」-

場所：6号館(ソフィアタワー)1階展示スペース

会期：未定

ソフィア・アーカイブズ 展示コーナーがリニューアル

ソフィア・アーカイブズ内の展示コーナーがリニューアルされた。常設展では、日本での大学設立をイエズス会に要請した教皇ピオ10世や、2019年に本学に来校した教皇フランシスコなど歴代教皇と本学との関わりが一目でわかる写真や解説、上智学院のあゆみを辿る略年表、イエズス会教育の紹介など、随所に工夫を凝らした展示がされている。

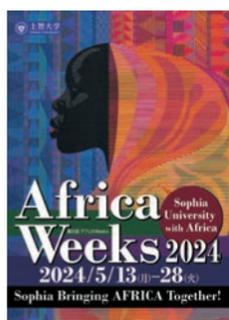
さらに、紀尾井町に上智大学が誕生



し地域と共にキャンパスが拡張していった様子や学生生活の今昔などの展示に加え、企画展では国内外からの数多くの来訪者の紹介や、大学紛争を写真で紹介するコーナーなども設けている。

場所：四谷キャンパス 中央図書館9階(北側922室)

第8回 アフリカWeeks 2024 5月13日(月)~28日(火)



【セミナー】5/13(月)	上智大学アフリカ研究紹介
【セミナー】5/15(水)	フランス語を活かしてアフリカで働く
【講演会】5/21(火)	アフリカの口承文学と現代
【講演会】5/22(水)	アフリカの人々と場所
【シンポジウム】5/24(金)	2024 アフリカ・デー記念講演会 高校生・大学生限定
【シンポジウム】5/27(月)	AFRI CONVERSE 2024 in Sophia
【セミナー】5/28(火)	変わるタンザニアビジネスとパートナーシップ

大阪サテライトキャンパス

【シンポジウム】5/19(日)	プレザントリ(冗談)が繋ぐ友愛の文化 ~コートジボワールに見る笑いの交渉術、その起源と歴史~
-----------------	--

【学生企画】With Africa

雑誌企画	アフリカに関する仕事に取り組むソフィアン(卒業生)インタビューなど
------	-----------------------------------



各イベントの詳細、参加申込みはこちらから

第21回 国連Weeks June 2024 6月7日(金)~24日(月)

【講演会】6/7(金)	命のビザ、国連の精神、そしてオランダのコミットメント
【シンポジウム】6/10(月)	中東和平を考える
【セミナー】6/11(火)	JICAの平和構築への挑戦 ~国際機関との連携も含めて~
【講演会・ワークショップ】6/13(木)	国際機関・国際協力キャリア・ワークショップ
【シンポジウム】6/18(火)	気候変動:地球規模の課題にどう対処するか
【セッション】6/22(土)	国連システム学術評議会(ACUNS)年次大会 人間の開発セッション

写真パネル展(於:2号館1階エントランス)

6/7(金)~24(月)	キュラソー・ビザ:ズワルテンダイク・オランダ領事と杉原千蔵「命のビザ」の原点
--------------	--



各イベントの詳細、参加申込みはこちらから